

# DOCTOR'S CAREER Monthly

ドクターズキャリア マンスリー

好評連載

私のキャリアチェンジ  
「訪問診療に携わり、社会のニーズに応える」  
血液内科・44歳

特集  
大学医局でしかできない<sup>シ</sup>は誤解!?  
一般病院のやりがい  
メリット徹底研究



特集

## 医師の負担を減らすことに 本気の病院

今月の転職情報

285件

今月の特集

- 整形外科・リハビリテーション科特集
- 消化器科特集

RECRUIT

DOCTOR'S CAREER Monthly 7 2014

2014年6月30日発行 第24巻第7号 通巻401号  
発行人・本会 編集人・島田隆子  
株式会社 リクルートドクターズキャリア 国120-953-616  
〒105-0004 東京都港区新橋2-6-2 新橋7ビル2F

RECRUIT

## お引越しの際は、 新しいご住所をお知らせください。

『DOCTOR'S CAREER Monthly』は、会員である医師や医学生の皆様を対象に、事前に登録いただいた送付先住所へ毎月発送しております。転居をされる場合は、ぜひ住所変更の手続きをお願いいたします。新しい送付先をご通知いただけないと、関係のない方に発送され、ご迷惑をおかけしてしまう可能性がございます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本誌送付先の住所変更は、以下のいずれかの方法で、簡単に手続きいただけます。

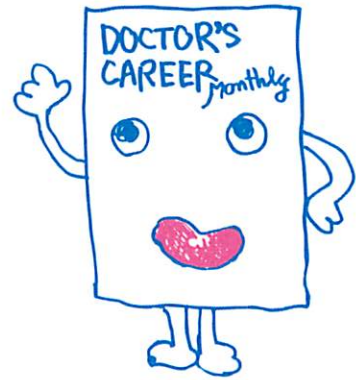


リクルートドクターズキャリア 検索

0120-953-616



メールアドレスも  
お知らせください



RECRUIT

【本社】

〒105-0004 東京都港区新橋2-6-2 新橋アイマークビル4階 株式会社リクルートドクターズキャリア 厚生労働大臣許可 職業紹介事業 13-ユ-080058





# 大学医局でしかできないことは誤解!?

## 一般病院のやりがい メリット徹底研究

新医師臨床研修制度が始まって10年。この間、一般病院であっても大学に引けを取らない例が増えつつある。一般病院で得られるやりがいとメリットはどんなことか。また、今も医局に属する意義は何かを探った。

取材・文 越前綾子

「一般病院でも、十分に最先端の治療ができる実感しています」

メデイカルトピア草加病院(埼玉県草加市)内視鏡診療部長の吉田智彦氏は語る。同院は2012年にリニューアル開院した新しい病院だ。内視鏡を用いた「低侵襲治療」の提供がコンセプトで、金平永二院長をはじめ、腹腔鏡手術のスペシャリストが多数在職する。症例数が豊富で、すでに高い実績を挙げている。

「卒後10年間、大学医局で勤務する中で、総合内科を基本としながら、何か一つ、誰にも負けない分野が欲しかったのです。それが内視鏡でした。早期の胃がんや大腸がんは、ほ

一般病院でも、最先端の治療はできる。内視鏡の腕を磨き、地域住民の健康を支えたい

んど症状がありません。しかし早期発見できれば内視鏡だけで根治できる病気です。もっと自分の技術を生かして患者を健康にしたいと思いました」

吉田氏の意欲と同院の方針は、見事に合致した。それを象徴するように、職員用のネームプレートの裏にはこう書かれている。  
「きつといい考えだよ。チャレンジしようよ。(Good ideal Why don't we challenge?)」

金平院長が考えたプリンシプルだ。「初めてお会いした時、金平先生は『自分の理想とする内視鏡室を作りたい。そのためにバックアップ

がついている手応えがあります」

ONとOFFが明確になり、子どもと過ごす時間が増えた

医局在籍時と比べての変化はいくつもある。1つが、負担感の軽減だ。メデイカルトピア草加病院は医師事務作業補助者を配置しており、大学病院の時より診療以外の業務に費やす時間が減り、臨床に集中できる環境があります」と言う。

また、当直回数が減り、ONとOFFの切り替えが明確になった。「1歳の子とも過ごす時間が増えたことは、非常に嬉しいですね。スポーツジムに通うなど、プライベートが充実しました」

院内の人間関係のあり方も、医局時代とは少なからず変わった。「医局員同士のような密な関係がないことは確かですが、一緒に楽しく仕事をしようとする仲間意識があり、とてもいい雰囲気だと思います。当院は診療科間の垣根が低く、他科の医師にコンサルトしやすい雰囲気です。治療方針に苦慮する症例は、なるべく複数の医師の意見を聞いて、医療の質を高めるようにしています」

一方、医局に在籍しなければできないこととして、吉田氏は「学生の教育や、教育者としてのステップアップ」を挙げる。医局と一般病院の

「初めてお会いした時、金平先生は『自分の理想とする内視鏡室を作りたい。そのためにバックアップがついている手応えがあります』

医療法人福寿会  
メデイカルトピア草加病院  
内視鏡診療部長  
消化器内科  
吉田智彦氏



2004年昭和大学医学部卒業。同年、昭和大学藤が丘病院初期研修。06年同大学附属豊洲病院消化器内科。08年昭和大学大学院医学研究科病理学修了(医学博士)。10年がん研有明病院内視鏡診療部(国内留学)。11年昭和大学附属豊洲病院内科助教を経て、14年から現職。

どちらがよいというものではないが、「自分の目指す方向性にマッチする病院なら、転職してもいいのではないだろうか。私自身、もし当院と出会えていなければ医局に残っていたかもしれない」と言う。それだけ、勤務先選びは重要なのだ。

幸運にも理想的な職場に出会えた吉田氏は、今後の目標をこう語る。「自分がかかりたい、治療を受けたいと思ってくれる患者が増えたら、これに勝るやりがいはありません。できることなら、東京から当院へ来る患者の流れを構築できるようにも頑張っていきたいと考えています」

「内視鏡に対する患者の抵抗感を少しでも減らすために、検査時にはリラックスできる音楽を流しています。鎮静剤や経鼻の希望にも積極的に対応しました。リカバールームでは、覚醒のスコアを導入し、安全に帰れるように配慮しています。女性医師が担当する日も設けました。また、患者の満足度は検査自体の精密さより、検査前後の安心感に左右されると思います。そのため、検査の説明は内視鏡室の看護師に託しました。画像を見せながら丁寧に説明することで、患者の満足度は高まっているようです」

加えて、近隣の開業医からの検査依頼を増やすための対策も行った。「それまでは、問診票や承諾書などの書類が7〜8枚ほどありましたが、書式を作り直して半分程度に減らしました。また、通常は、検査のオーダーから結果の説明まで何度か来院する必要がありますが、1日で完結するように体制を見直しました」

月当たりの検査依頼数は、すぐに増えた。4月、5月の内視鏡検査総数は昨年同月比60〜80%増、内視鏡治療件数は同2.5倍に達した。症例数の増加について、吉田氏はこう分析する。

D(内視鏡的粘膜下層剥離術)など、比較的、難しい手技にも対応していることから、患者が集まっているのだと思います。金平先生の腹腔鏡手術を求めて来院する患者の中に、内視鏡治療が適用できる症例もあります。入職して3カ月で20例以上のESDを経験し、スキルアップにつな

### 吉田氏が手にした一般病院のメリット

- Merit 1 内視鏡室の責任者を任され、理想とする環境を作ることができた。
- Merit 2 大学病院と同等の難しい症例も多数経験できる。
- Merit 3 診療以外の事務作業が少なく、当直回数も減った。